

山下先生、お元気でしょうか。

水野先生をはじめ、担当して頂いた山下先生、ペアレンツキャンプの皆様、大変お世話になり本当にありがとうございました。

息子は小2の頃、突然「学校がこわい」「行きたくない」と行き渋るようになりました。小1の時は毎日楽しそうに通っていたので、そのうちまた元通り通ってくれるだろうと思っていました。

その状態のまま小3になり、夏休み明けの2学期、行き渋りがひどくなっていきました。

朝は「吐きそう」「頭がくらくらする」など体調の悪さを訴え、

夜は「明日学校に行きたくない」「6時間目まであるからこわい」など暗い表情であつと言いつける毎日でした。

また、学校でも「しんどい」と保健室へ行くことも多くなり、早退してくることもあり、このままでは不登校になってしまうのではないかと、何て声をかけてあげればいいのか...など不安でいっぱいでした。

途方にくれ、パソコンで色々調べている時にペアレンツキャンプのHPが目にとまりました。

一般的な対処ではなく、家庭ノートなどを元にそれぞれの家庭・子どもに合わせた対応をしてくださるということで、私は「ここだ!!」と思い、すぐに入会しました。

小3の10月になっていました。

山下先生が担当してくださり、山下先生のアドバイスはいつも「そこが知りたかった!」というポイントを押さえたもので、また対処方法も子どもの様子をみながら、臨機応変に対応方法を指導していただきました。

また、山下先生と週一回電話カウンセリングで話していると、とても癒され、1週間間の疲れやイライラがやわらぎ「よし! また今週もがんばるぞ」といつも前向きになりました。

ペアレンツキャンプに入会する前は「子どもは充分甘えられると自立する」という一般的な考えから、私は「息子は充分甘えられていないのかも...」と思い、ますます過保護・過干渉になっていたようです。息子は充分甘えが足りている状態であったのに、さらに甘やかしすぎていて、自立心を育てていなかったのです。

そのことに気づかないまま時間が過ぎていたら...と思うと恐ろしくなります。

そして、家庭と学校生活とのギャップをなくしていくことも目標にし、精神的に幼い息子が自立していけるような言葉かけ・対応を色々指導して頂きました。

はじめの数ヶ月は、私にとっては「がまん、がまん」の連続で、「また言い過ぎてしまった...」との後悔のくり返しでした。

それでもあきらめずに続けていけたのは、山下先生の支えでした。

半年以上が過ぎ、息子の朝の行き渋りが少し軽くなり、学校での不満を言うこともなくなってきたなと感じてきました。

ただ、去年のこともあり、夏休み後の2学期からが、また落ち込んでいくのでは…と不安でした。

そして、夏休みの過ごし方など色々と指導して頂き、おがえた小4の夏休み明けの2学期。

親の私もびっくりするほど、グズグズ言うこともなく学校へ行く準備をし、家を出ていくのです。

それと同時に、どんどんと成長したなあと頼もしく思うことが増えていきました。

「親が変われば子どもも変わる」…本当にその通りだと改めて実感しました。

そして、12月初め家庭支援を無事卒業できました。

これからもご指導いただいた対応を忘れずに続けていき、ますます頼もしい息子になることを楽しみにしています。

1年以上前の困り果てていたあの頃、ペアレンツキャンプに出会えたこと、本当に感謝しています。

そして、いつも我慢強く話を聞いて頂き、アドバイスして頂き、心のよりどころを与えてくださった山下先生、本当にありがとうございました。